

## 大田黒公園周辺の 歴史的・文化的資源のご紹介



荻窪駅南側にある大田黒公園周辺の地区は、大正末期から昭和初期にかけて、政治家等が居住し、広い屋敷林をもつ落ち着いた雰囲気住宅が、今も残っています。そうした良好な住環境の維持とみどり豊かな落ち着いたあるまじなみの形成を図っていくため、平成8（1996）年に「大田黒公園周辺地区地区計画」が都市計画決定されました。ここでは、大田黒公園周辺に存在する魅力的で価値ある主な歴史的・文化的資源をご紹介します。



中央図書館



撮影：川澄・小林研二写真事務所

都内でも多くの蔵書数を有する図書館。当初の設計は黒川紀章。みどりの中で読書を楽しめる空間やカフェもあります。

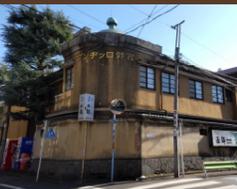


長屋門



この場所に、明治天皇行幸の際、休息所として立ち寄られた建物がありました。長屋門は、移築復原されたものです。

西郊ロッキング



昭和初期に洋間の高級下宿として建てられた建物。国の登録有形文化財です。

かつら文庫



児童文学の第一人者である石井桃子の旧宅。自宅の一部を開放し、子どものための小さな図書館を開きました。

※各施設の詳細については、すぎなみ学倶楽部ホームページ（各2次元コード）をご覧ください。

### 【荻窪まちづくりだよりに関するお問い合わせ】

杉並区 都市整備部 市街地整備課 荻窪まちづくり担当  
〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番1号  
TEL : (代)03-3312-2111 (内線3382、3384) FAX : 03-3312-2907



本紙では、荻窪駅周辺地区都市再生整備計画と、大田黒公園周辺に存在する歴史的・文化的資源をご紹介します。

杉並区では、今年十二月の荻外荘公園の開園をきっかけとした荻窪駅周辺地区のまちづくりに取り組みんでいます。

荻  
まちづくり  
だより

第二号



▲荻外荘公園整備イメージ

## 『歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち』

杉並区では、荻窪の魅力さをさらに高め、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指し、荻窪駅周辺地区のまちづくりに取り組みんでいます。平成29年4月に「荻窪駅周辺まちづくり方針」を策定し、まちの目標のひとつに『歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち』を掲げています。令和6年12月には、荻外荘公園の開園を控えていることもあり、荻窪三庭園（荻外荘公園・大田黒公園・角川庭園）を中心に地域の回遊性の向上を図るため、観光案内板・道案内や快適な歩行空間の整備を行い、荻窪駅周辺に数多く存在する歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりを推進します。これらの取組については、国の交付金を活用し計画的に推進するため、荻窪駅周辺地区都市再生整備計画を令和5年3月に国に提出しました。

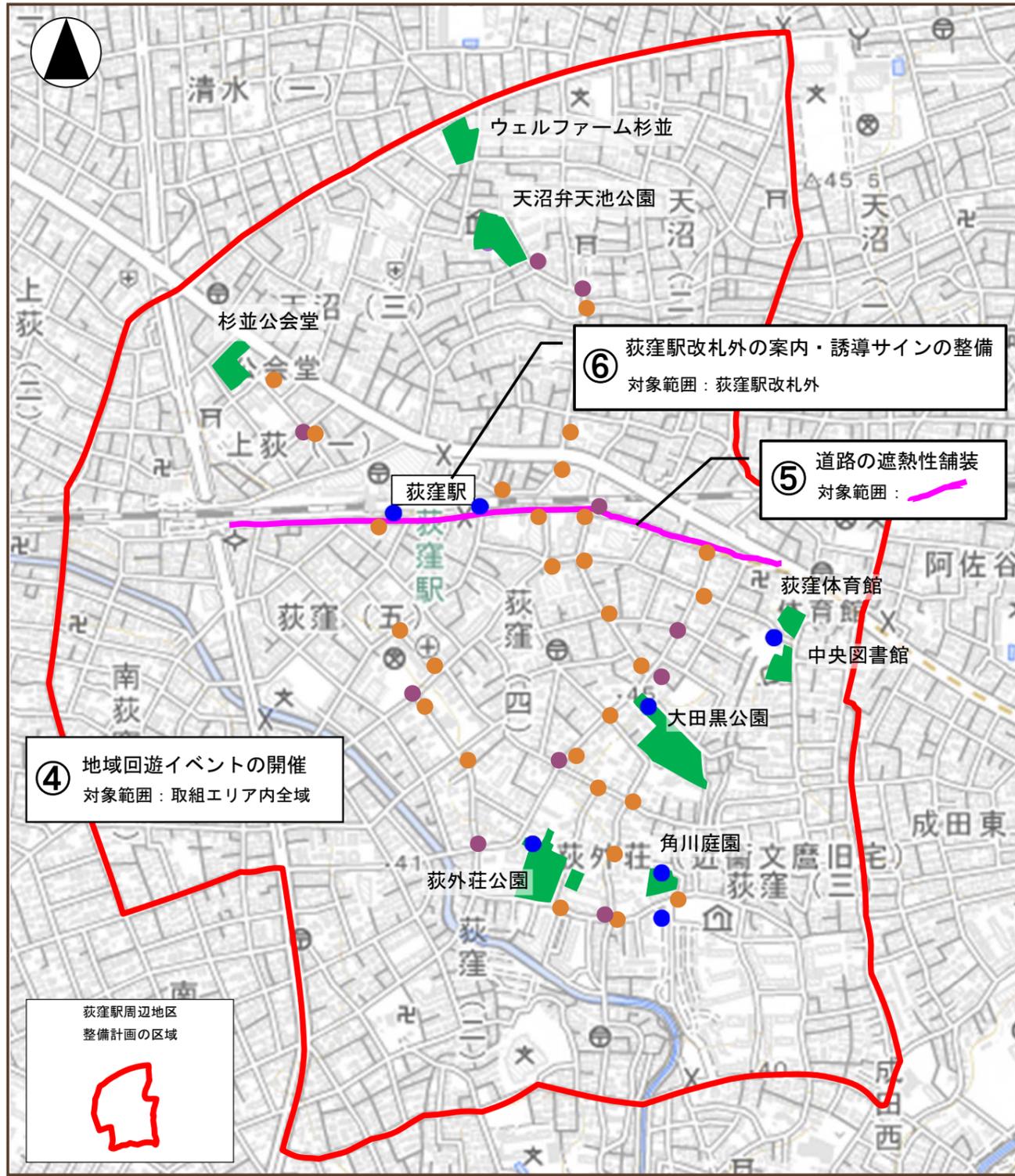
### 荻窪駅周辺地区都市再生整備計画 計画期間 令和5年度～令和7年度

- | 目標                        | 整備方針                                     |
|---------------------------|--|
| ○良好な景観づくりの推進              | ○景観に配慮した案内板やサインを設置                       |
| ○歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりの推進 | ○案内板等の充実による地域の回遊性向上や、道路に応じた安全・快適な歩行空間づくり |
| ○地域の魅力発信                  | ○荻窪まちづくりだより等により地域の魅力を発信                  |

数値目標	【現況】 令和4年度当初	【最終目標】 令和7年度末
・荻窪のまちを美しいと思う住民	85.1%	⇒ 86.9%
・荻窪三庭園訪問者数	253,777人/年	⇒ 280,000人/年
・荻窪駅周辺の満足度	78.7%	⇒ 81.6%

※数値は、区民意向調査や(仮称)荻外荘公園整備基本計画等を参考に算出しています。

# 令和7年度までの荻窪駅周辺地区都市再生整備計画の取組



④ 地域回遊イベントの開催  
対象範囲：取組エリア内全域

⑥ 荻窪駅改札外の案内・誘導サインの整備  
対象範囲：荻窪駅改札外

⑤ 道路の遮熱性舗装  
対象範囲：〰〰〰

荻窪駅周辺地区  
整備計画の区域

【凡例】  
●：① 観光案内板の整備   ●：② 路面案内ステッカーの整備   ●：③ ウイングサイン型案内表示の整備

荻窪駅周辺地区都市再生整備計画の詳細については、杉並区公式ホームページ(右2次元コード)でご覧いただけます。 ※計画の一部について、変更する場合があります。

# 令和6年度の取組

## ① 観光案内板の整備

荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源等を紹介し、地域の回遊を促しながら、まち歩きを楽しんでもらえるような情報発信を行います。



※令和7年度に設置する箇所もあります。

▲参考事例：世田谷代田の案内板

## ② 路面案内ステッカーの整備

道路面に滑りにくい素材の路面案内ステッカーを貼り付け、荻窪駅周辺の公共施設や荻窪三庭園への案内・誘導を行います。



▲参考事例：山口市

## ③ ウイングサイン型案内表示の整備

カーブミラーや横断抑止柵のポールにウイングサイン型案内表示を取り付け、荻窪駅周辺の公共施設や荻窪三庭園への案内・誘導を行います。



▲参考事例：下井草

## ④ 地域回遊イベントの開催

荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を巡る地域回遊イベントを開催します。まち歩きを楽しみながら地域の魅力の再発見や、新しい学びを提供します。



▲歴史的・文化的資源

# 令和7年度の取組

## ⑤ 道路の遮熱性舗装

荻窪駅南側の駅前通り補助131号線に遮熱性舗装を整備します。遮熱性舗装はヒートアイランド対策として有効な取組です。



▲参考事例：神田駅前

# 令和5年度の取組

## ⑥ 荻窪駅改札外の案内・誘導サインの整備

荻窪駅の利便性向上を目的として、交通事業者と連携し、荻窪駅改札外の案内・誘導サインの整備を順番に進めています。杉並区は、令和6年2月に一部サインを整備しました。

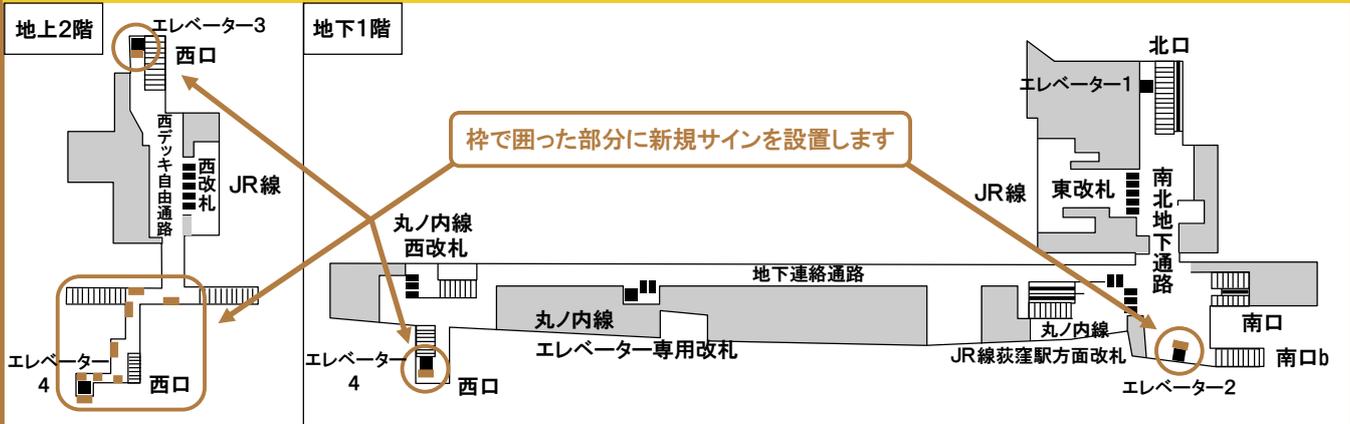


▲サイン例   ▲整備イメージ

**都市再生整備計画事業とは…**  
地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的としている事業です。  
都市再生特別措置法第46条第1項に基づき、市区町村が都市再生整備計画を作成し、その計画に基づいて実施される事業等の費用に対して社会資本整備総合交付金が交付されます。(国土交通省ホームページより)

# 荻窪駅改札外の案内・誘導サインの整備 について

杉並区では、荻窪駅の利便性向上を目的として、交通事業者と連携し「荻窪駅周辺サイン整備計画【第1期】」を策定し、駅改札外の案内・誘導サインの整備を順番に進めています。ここでは、令和6年2月に整備した一部サインについて紹介いたします。



## ■サインのデザインについて

様々な駅利用者が、改札、出口、エレベーター等の目的地にスムーズに移動できるよう、ピクトグラムや2言語表記(日本語・英語)等を用いて誰にでもわかりやすいサインを心掛けています。

## 〈壁面に整備するサイン〉



## 〈エレベーターのりばに整備するサイン〉



## 正面



## ■現地への設置イメージ

こちらは、令和6年2月にサインを設置した際のイメージ写真です。

設置高さ等については、車いす利用者等のご意見も伺いながら進めてきました。



西口エレベーターへの案内サイン



南口エレベーターサイン

※本紙に記載のサインや駅構内図のデザインは、変更になる場合がございます。

## ■これからの予定について

今後は、JR東日本と東京メトロによる統一的なデザインの駅構内図や北口エレベーターサインの整備等が予定されています。

